

中学校では「学年・学級経営」「生徒指導（集団）」「部活動・クラブ活動」の時間が減少していることが分かりました。

実際に、ICT を活用した学習評価や成績処理をしている小学校は 97.1%、中学校は 96.5%、学校と保護者間の連絡手段にメールや Web アンケートフォームなどを活用している小学校は 88.3%、中学校は 86.7%で、ほぼ全ての小・中学校が、ICT を活用した負担軽減に取り組んでいます。

なお、数値は速報値であり、令和 5 年度末頃、確定値に更新される予定です。

▼教員勤務実態調査（令和 4 年度）【速報値】について

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01232.html

◇◆ トピックス（2）

文部科学省「情報化社会の新たな問題を考えるための教材
< 児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き >」を公開

.....◆◇

文部科学省は 4 月 28 日、「情報化社会の新たな問題を考えるための教材
< 児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き >」に
令和 4 年度作成分を公開しました。

「端末を用いた家庭学習を行う」「チャットツールを用いた協働学習」を
テーマとした、児童・生徒向けの動画教材、教員向けの概要資料、
情報モラル教育啓発用ポスターを掲載しています。

動画教材は、小・中学生を対象に、学習用端末を持ち帰った際の正しい利用方法や、
適切なチャットツールの利用方法について、約 8 分のアニメーションで解説しています。
保護者も一緒に考えられる内容のため、宿題や保護者への説明にも活用できます。

教員向けの概要資料は、動画教材の活用ポイントや保護者を対象に行ったアンケート
「家庭での情報機器利用で守れていないルール・望ましくない使い方」の結果が
掲載されています。

情報モラル教育啓発用ポスターは、小学校から高校まで、
それぞれの対象学年に合わせて公開しています。
情報モラル教育に関する目標を、児童・生徒や、学級・学校が記載できる
ポスター形式の啓発資料です。

文部科学省は、一人 1 台端末の学校や家庭内での適切な活用について、

子供たち自身で考える必要があるとしています。
情報モラル教育にぜひご活用ください。

▼情報化社会の新たな問題を考えるための教材

< 児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き >

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416322.htm

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2023年5月9日調査）

- ☆★ (1) 紛失・置き忘れ：10件 (2) 盗難：8件 (3) 誤送信：2件
- (4) 誤掲示：2件 (5) 誤廃棄：1件 (6) その他：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2023年4月13日～2023年5月2日に合計24件の事故が発生しました。
情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

(1) 紛失・置き忘れ

- 静岡県 2023年4月13日 公立中学校 書類 44件
- 静岡県 2023年4月14日 県立高等学校 USBメモリ 約280件
- 大阪府 2023年4月20日 府立高等学校 書類 5件
- 埼玉県 2023年4月21日 県立高等学校 書類 1件
- 埼玉県 2023年4月21日 県立高等学校 書類 1件
- 沖縄県 2023年4月21日 市立不明 書類 32件
- 新潟県 2023年4月24日 県立高等学校 書類 1件
- 宮城県 2023年4月26日 市立小学校 USBメモリ 360件
- 佐賀県 2023年4月27日 町立児童クラブ 書類 47件
- 兵庫県 2023年5月2日 市立小学校 書類 延べ363件

(2) 盗難

- 岐阜県 2023年4月24日 公立高等学校 書類 128件
- 岐阜県 2023年4月24日 公立高等学校 書類 4件
- 岐阜県 2023年4月24日 公立高等学校 書類 2件
- 岐阜県 2023年4月24日 公立高等学校 書類 86件
- 岐阜県 2023年4月24日 公立高等学校 書類 114件
- 岐阜県 2023年4月24日 公立高等学校 書類 73件
- 岐阜県 2023年4月24日 公立高等学校 書類 90件

岐阜県 2023 年 4 月 24 日 公立高等学校 書類 128 件

(3) 誤送信

東京都 2023 年 4 月 17 日 市その他 電子メール 1,939 件

北海道 2023 年 4 月 27 日 公立特別支援学校 電子メール 13 件

(4) 誤掲示

宮城県 2023 年 4 月 24 日 市立中学校 インターネットサービス・アプリ 379 件

群馬県 2023 年 5 月 2 日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 44 件

(5) 誤廃棄

大阪府 2023 年 4 月 14 日 市立小学校 書類 23 件

(6) その他

静岡県 2023 年 4 月 25 日 不明小学校 その他 不明

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

NHK NEWS WEB／静岡県ホームページ／大阪府ホームページ／埼玉県ホームページ／埼玉新聞ウェブ／
沖縄タイムス／新潟県ホームページ／仙台市ホームページ／河北新報 ONLINE NEWS／白石町ホームページ／
佐賀新聞電子版／岐阜県公式ホームページ／北海道新聞「どうしん電子版」／群馬県ホームページ／
大阪市ホームページ／静岡市ホームページ／Security NEXT など



□ 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム



◆生成系 AI による学び・教育の大転換に備えて◆

社会構想大学院大学 教授 荒木 貴之

生成系 AI（ジェネレーティブ AI）に関する議論が、活発に行われている。
ChatGPT を開発する OpenAI が示した教育者用の手引きを見ると、
「ChatGPT のような技術は今後ますます普及していくため、
学生がこれらのツールに等しくアクセスし、その効果的な使い方を
学ぶことが重要になっている。」とし、AI デバイドやインテリジェンスデバイスが

生じることへの懸念を表明している。ただし、AI への過剰な依存は、学生が「学習する機会」を奪いかねず、適切な場面での AI の利用や、AI の適切な利用方法を教育する重要性も増しているといえる。

従来型の教育において、教科書に記載されている情報や、教育者が学習者に伝授する情報は、真実であることが前提であった。今、すさまじい勢いで、生成系 AI による情報が生み出されようとしている。果たして、Hallucination（幻覚・真実のような嘘）への対応は、どのようにしていくべきであるか。生成系 AI が産出するアウトプットを検証するには、批判的思考力やファクトチェックなど、高度な専門性が要求される。

ノースイースタン大学の CATLR (Center for Advancing Teaching and Learning Through Research) は、生成系 AI への対応として、次の 6 つを掲げている。

- Address your concerns with positive intention.
学問的誠実性やオリジナリティの大切さを伝えるなど、ポジティブな意図で困難に対処しましょう。
- Consider revising your assignments to emphasize the work development process.
制作の過程を重視し、中間評価からの改善点を発表させるなど、課題を再構成しましょう。
- Tap into the uniqueness of students' lives.
学生それぞれのユニークさを尊重しましょう。
課題と自分との関連性が高ければ、学生は AI を使う意味などありません。
- Avoid generic assignments such as term papers that are easy to create with AI.
AI が簡単に答えられるような、汎用的な課題を課すことはやめましょう。
- Emphasize the importance of questions.
学生の学びにつながるような、洗練された「問い」を大切にしましょう。
- Lean into technology by “learning with” AI.
AI を用いて学ぶことをリテラシーの 1 つと捉え、テクノロジーを存分に使いましょう。

連休中、筆者は、ChatGPT や BingAI などのテキスト生成系 AI や、Midjourney や Stable Diffusion といった画像生成系 AI を使ってみた。求めたい文章や作品をアウトプットするには、適切な命令「プロンプト」が必要となるが、プロンプトを通してヒトと AI とが「壁打ち」をすることにより、だんだんとアウトプットの精度が上がってくるのを実感した。学び・教育の大転換に備えて、まず生成系 AI を試してみることをお勧めしたい。

◆ 執筆者プロフィール ◆

荒木 貴之
社会構想大学院大学 教授
情報経営イノベーション専門職大学 特任教授
ネットラーニングホールディングス 学びのDX 総合研究所 所長
文部科学省 学校DX 戦略アドバイザー
デジタル庁 デジタル推進委員
博士（情報科学・東北大学）

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◆……

ISEN では、2022 年 11 月 18 日に「令和 3 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>